

安全データシート(SDS)

1.【製造者情報】

会社名 三喜工業株式会社
住所 千葉県千葉市中央区今井 1-4-16
担当部門 技術部
電話番号 043-262-8100
FAX番号 043-263-2638
緊急連絡先 043-262-8100

作成 平成 29 年 1 月 14 日
改訂 平成 29 年 6 月 28 日

整理番号 SDS-1926-01-1

製品名 : SN-1070 シルバーガラスクロス

2.【危険有害性の要約】

GHS分類 : 分類基準に該当しない。
GHSラベル要素 : 該当しない。
シンボル(絵表示) : なし。
注意喚起語 : なし。
重要危険性有害性及び影響 : 該当しない。
化学物質又は混合物の分類 : 混合物(成型品)
危険有害性情報 : 本製品はシート状の製品であり通常の取扱いにおいては「吸入」や「眼に入る」又は「誤飲」に対する障害は予見されない。本品の二次加工の際の裁断・加熱・溶着作業・折り曲げなどの際に発生するガス・粉塵・ヒュームや裁断屑などの危険性は 4 項の応急措置に示した。

3.【組成及び成分情報】

単一製品・混合物の区分 : 混合物。
化学名又は一般名 : ガラス繊維と塩化ビニル樹脂の積層体。

成分名(一般名)	CAS.No.	化審法No.	該当法規制
ガラス繊維	65997-17-3	—	
塩化ビニル樹脂	9002-86-2	6-66	
アルミニウム	7429-90-5	—	(安) [※]
DEHP	117-81-7	3-1307	(安)(排)
二酸化チタン	13463-67-7	1-558	(安)
三酸化アンチモン	1309-64-4	1-543	(排)(毒)(安)

毒物及び劇物取締法)、労働安全衛生法(安)及び、化学物質排出把握管理促進法(排)上名称等を通知すべき義務を有す物質について示した。尚、それ以外は主成分を開示した。

※シート状の本製品は労働安全衛生法に規定された「粉末状のもの」に該当しないため対象外となる。

4.【応急措置】

吸入した場合	: 本製品の加熱や燃焼又は裁断などに起因し発生したガス、粉塵・煤煙、ヒューム等を多量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 適切な応急措置を施し直ちに医師に手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	: 裁断などに起因し発生した粉塵や物質が皮膚に付着した場合は水やお湯で石鹼などを使用して十分に洗い落とす。また、溶剤、シンナーなどを用いて洗浄しないこと。外観の変化や痛みがある場合ある場合には、医師の診察を必ず受けること。
眼に入った場合	: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。できるだけ早く眼科医師の診察を受けること
応急措置をする者の保護 医師に対する特別注意 事項	: 救急者は保護具を着用する。 : この安全データ内容を確認すること。

5.【火災時の措置】

消火剤	: 散水、ドライケミカル、炭酸ガス、泡等。
消火方法	: 消火剤を用い、風上から消火作業を行う。
消火を行う者の保護	: 消火を行うときは必ず保護具(空気呼吸器、耐熱着衣など)を着用する。
特定の危険有害性	: 燃焼又は熱分解により有毒ガスが発生する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項	: 特別な問題はない。
環境に対する注意事項	: 漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
封じ込め及び浄化の方法	: 漏出したものを掃き集めて回収する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を準備する。

7.【取扱い及び保管上の注意】

静電気に対する取扱い 注意事項	: 取扱い時に静電気が発生しやすいため帯電防止の保護具使用や除電をする。 静電気により着火し易い可燃物は隔離させる。
擦れに対する注意事項	: シートの端面が手先やその他の身体部分に擦れることにより、擦り傷や切り傷が発生する場合がありますので、取扱いの際には必要に応じて手袋などの保護具を使用すること。
加熱時の注意事項	: 裁断作業や加熱、溶着作業時に塩化水素、二酸化炭素、一酸化炭素などのガスや粉塵・煤煙・ヒュームや裁断屑が発生するので局所排気や全体排気をする。
高温低温時の注意事項	: 常温で使用する。高温時には熱変形し、低温時には硬くなり衝撃で破損することがある。
搬送時の注意事項	: 本製品は転がりやすく、且つ重量物のため輸送あるいは保管時、荷崩れ防止策を講じるようにする。
ガラス繊維を基材とする 製品の取扱い注意事項	: 本製品を裁断するとガラス繊維屑が発生するため、裁断を行う場合は換気の良い場所で防塵マスクや保護めがね、保護手袋などの保護具を装着して行うこと。 本製品を取扱うために着用した衣類や保護具などを洗浄する際には他の衣類や保護具とは別々に分けて行うこと。 飛散したガラス繊維に触れると皮膚、眼、喉や鼻などにかゆみや痛みを引き起こすことがあるため、体に付着したガラス繊維屑は、こすらずに石鹼で洗浄するか入浴などで洗い流すこと。かゆみ、痛みなどの症状が続く場合は、医師の診察、手当てを受けること。

- 強度低下の注意 : 本素材は、ガラス繊維を基材としているため鋭角に折り曲げないこと。
- 火源に対する注意事項 : 本品は火源を近づけると燃えるため取扱いに注意すること。
- 保管に対する注意事項 : 本製品は円筒形で、転がりやすいため、水平な場所に転がり止めをして保管すること。
 雨水や日光の直射を避け、換気の良い屋内冷暗所に保管する。
 火気、熱源、スパーク、火花から遠ざけて保管する。
 本製品と他の物質や材料を接触させないこと。他の物質や材料が本製品の可塑剤成分などを吸収する場合や他の物質や材料から本製品に成分移行して劣化が起きることがある。関係する材料との問題を事前にチェックすること。
 高温多湿下に長期保管するとカビが発生することがあるため乾燥雰囲気中で保管すること。
 本製品を長期間締め切られた空間に保管する場合、換気を行う。換気が不十分な場合極めて微量ですが本製品に含まれるシックハウス症候群指定成分が揮散し、その空間に溜まるため、作業者への影響を与える恐れがある。

8.【暴露防止及び保護措置】

- 静電気対策 : 除電対策(除電テープ・静電気除去装置など)をする。
 また帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。
- 排気対策 : 作業時に発生するガス・煤煙・ヒューム・粉塵の排気装置を準備すること。
- 呼吸器の保護具 : 排気が不足している場合は有機ガス用防毒マスクを着用すること。
- 手の保護具 : 必要に応じて、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用させる。
- 眼の保護具 : 保護メガネを着用させることが望ましい。

9.【物理的及び化学的性質】

- 物理的状態、形状 : シート状固形物。
- 色 : シルバーグレー色。
- 臭い : 無臭～わずかな特異臭。
- pH : 測定不能。
- 沸点 : 知見なし。
- 引火点 : 知見なし。
- 発火点 : 知見なし。
- 燃焼性 : 知見なし。
- 蒸気圧 : 知見なし。
- 蒸気密度(空気=1) : 知見なし。
- 比重※ : 2.5。
- 溶解度 : 知見なし。
- n-オクタノール/水分係数 : 知見なし。
- 粘度 : 知見なし。
- 分解速度 : 知見なし。
- ※ガラス繊維の比重 2.5 を参考までに示した。

10.【安定性及び反応性】

- 安定性 : 通常の手扱いにおいては安定。
- 反応性 : 標準状態では危険な反応はない。
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼や加熱により塩化水素、二酸化炭素、一酸化炭素ガスが発生する。

11.【有害性情報】

急性毒性	: 知見なし。
皮膚腐食性・皮膚刺激性	: 知見なし。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	: 知見なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見なし。
生殖細胞変異原性	: 知見なし。
発がん性	: 知見なし。
生殖毒性	: 知見なし。
特定標的臓器毒性、単回暴露	: 知見なし。
特定標的臓器毒性、反復暴露	: 知見なし。
急性呼吸器有害性	: 知見なし。

12.【環境影響情報】

生態毒性	: データなし。
残留性・分解性	: 難分解性。
生態蓄積性	: データなし。
土壌中の移動性	: データなし。
オゾン層への有害性	: データなし。
他の有害影響	: データなし。

13.【廃棄上の注意】

- ・国の法規及び地方条例に従って廃棄物処理を行う。
 - ・埋め立時には「廃棄物処理法」に従って実施すること。
 - ・焼却処理をする場合は都道府県の許認可を受けた焼却炉において実施すること。
 - ・本製品の包装材料についても上記に示した内容で実施すること。
-

14.【輸送上の注意】

国際規則	: 該当しない。
国内規制	: 該当しない。
〔陸上規制情報〕	: 非危険物。
〔海上規制情報〕	: 非危険物。
〔航空規制情報〕	: 非危険物。
輸送上の一般的注意事項	: 円筒形であり転がりやすいため、荷崩れ対策を実施すること。

15.【関係法令】

消防法	: 市町村条例に従った対応が必要。
廃棄物処理法	: 廃プラスチック又はガラス屑に該当。各都道府県の条例を確認のこと。
労働安全衛生法	: DEHP・三酸化アンチモン・二酸化チタン・アルミニウムを含有しているがシート状の成型品であり対象外である。
毒物及び劇物取締法	: アンチモン化合物を含有している。
化学物質排出把握管理促進法	: DEHP・アンチモンを含有している。

16.【その他の情報】

引用文献

- 1) JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学品の分類方法。
- 2) JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)。
- 3) 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)最終改正:平成23年6月24日法律第74号。

- 4) 通称PRTR法「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」。(平成 11 年法律第 86 号)。
- 5) 通称廃棄物処理法「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施工令」(昭和 46 年 9 月 23 日政令第 300 号)。
- 6) 通称毒劇法「毒物及び劇物取締法」(昭和 25 年 12 月 28 日法律第 303 号)最終改正：平成 27 年 6 月 26 日法律第 50 号。

注意事項

- 1) 本文は一般的な工業的用途について「製品の適切な取扱い」を確保するための参考資料として提供するもので、保証書ではありません。
- 2) 記載内容は現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものです。使用者各位はこれを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願いいたします。
- 3) 個別の物質、成分に関して製品の安全データシートの発行が義務付けられている「労働安全衛生法上の名称等を通知すべき有害物」、及び「化学物質排出把握管理促進法上の第一種指定化学物質と特定第一種指定化学物質及び第二種化学物質」として指定されているもので指定成分以上に使用されている成分、毒劇法にて指定され指定濃度以上に使用されている成分以外は弊社の都合により開示しないこともあります。ご了承をお願いします。

・
・

以上